

病虫害発生予察注意報第2号

佐賀県

作物名：普通期水稻
病虫害名：スクミリンゴガイ

1. 注意報の内容

発生地域：県内全域
発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 越冬生貝率の予測

前年12月～当年2月の平均気温は8.7℃(アメダス、佐賀)で、過去10年では令和2年(8.9℃)に次いで高く、越冬生貝率は高いと推定される(令和6年5月21日付病虫害対策資料第5号参照)。

2) 定期調査等での発生状況

- (1) 早期水稻における調査結果(5月17日)では、1㎡あたりの平均生息数は6.8頭で、平年(令和2～5年の4か年平均値)の2.1頭より多い。また、多発圃場では、本種による食害を認めた。
- (2) 山間早植え水稻(5月移植)において、一部の圃場で本種の多発及び食害を認めている。

3) 気象予報

九州北部地方の1か月予報(福岡管区气象台、5月30日発表)では、向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想されており、移植後に多雨となった場合、薬剤の効果が低下するとともに浅水管理が困難となり、移植苗が本種に食害される恐れがある。

3. 防除対策

- 水深1cm程度の浅水管理とする。
- 水口や水尻、作溝に集まった本種を捕獲する。
- メタアルデヒド剤等の登録薬剤を処理する。
- 稚苗や密苗は本種による食害を受けやすいので、特に対策を徹底する。

【メタアルデヒド粒剤の使用上の留意点】

- ①は種または移植後に本種を確認したら、直ちに散布する。
- ②散布後7日間は、落水やかけ流しはしないこと。
- ③本剤の残効は深水管理で短くなる傾向が認められるため、処理後は浅水管理等の耕種的防除と組み合わせる。
- ④1回目の散布後も発生状況に留意し、必要に応じて追加散布する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html